

委員会視察成果報告書

2024年 / 月 22日

犬山市議会議長

柴田浩行様

議員名 岡村千里

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	2024年 / 月 16日(火) ~ 2024年 / 月 17日(水) (/ 泊 2日)
(2) 視察地	和歌山県有田市 株式会社早和果樹園
(3) 視察の種類	① 常任・特別委員会 (建設経済委員会)
(4) 視察成果 (視察地ごとに記入)	<p><調査事項> みかんの6次産業化の取り組みについて</p> <p>447年の歴史を誇る和歌山「有田みかん」</p> <p>昭和54年、7戸の農家が早和共撰組合を設立した。暴落とゆき青果市場にみかんが売れないうちに。平成12年現在の会社を設立。</p> <p>みかんの生産、集荷に加え、農産加工、販売を行い、付加価値が大幅にアップした。現在、常勤従業員100名、売上13億6,000万円。直営栽培農場9ha、生果みかん出荷量500t、加工みかん1,400t</p> <p>特徴・取り組みは次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おいしいみかん、味へのこだわり：マルチリ方カ、ICT農業システムの活用 ・ICTを活用したスマート農業：生産性が高い、働きやすい会社をめざす。 ・6次産業化へ：みかんは、自社生産と生産農家から集められる。糖度別に分けられ、搾汁工場(自社)にて搾汁。ジュース、ゼリー、調味料などに加工。 ・社員全員が販売の意識を持ち、販路開拓、高級ホテルなどに全国、世界へ ・人材育成：若者を呼び込む、女性の活躍が会社を伸ばす。 <p>お話しされた会長の人柄の良さ、搾汁工場や店の見学ができて、有意義だった。</p>
(5) 犬山市に 対する提言	<ol style="list-style-type: none"> 1. 犬山の二宮みかん、桃の生産量を増やせたい。地元農家、市民と話し合う。 2. 犬山で農業の取り組みを強化するための人材育成。良いリーダースを作ろう。 3. シンパル人材センターのトマトの栽培も加工して付加価値を高められたい。検討する。



委員会視察成果報告書

2024年1月22日

犬山市議会議長

柴田浩行様

議員名 岡村千里

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	2024年1月16日(火)～2024年1月17日(水) (泊2日)
(2) 視察地	奈良県北葛城郡王寺町 リーバル王寺東館
(3) 視察の種類	常任・特別委員会(建設経済委員会)
(4) 視察成果 (視察地ごとに記入)	<p>(調査事項)株式会社・ママスクエアと行政の連携事業について</p> <p>王寺町は奈良県北葛城郡北端の町。面積7.01km²、人口23,777人 王寺駅は、JR西日本、関西本線、和歌山線、近鉄などにより接続し県北部のターミナルとなっている。</p> <p>王寺町は、2017年「王寺町女性活躍支援センター」と整備。目的は、柔軟な就業環境の提供による仕事と家庭生活の両立、新たな雇用創出による女性の活躍支援に資するため。場所は、リーバル王寺東館の駐車場部分の一部を改築(約256m²)事業費84,398千円。地方創生推進交付金を活用(補助率1/2)施設運営には、POPホールを借り、株式会社ママスクエアを誘致。「リーバル王寺東館」は、駅前2ndアクセスに加え、買い物かしの商業施設。ママスクエアは、ワークスペースからガラス越しに見えるキッススペースを併設。安心し働けるようキッスサホ+スタッフが常駐。全国に57拠点があるが、東海地方には静岡県、長野県に各1ヶ所あるのみ。</p> <p>ママか子とちのそは、2nd働ける新しいワークスタイルで注目した。</p>
(5) 犬山市に 対する提言	<p>1. 犬山市の大きな課題として、若い人たちの雇用の場が少ないことかあげられる。犬山駅の近くに商業施設はあるが、その場のPOPを市が整備し、ママスクエアのような民間会社に運営をお願いできれば、官民連携となる。まずは、市民との意見聴取を含め検討する。</p> <p>2. 市民のニーズを調査し、「女性活躍支援センター」の整備を検討する。</p>